

東部保健所

(第1面)

00002

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月29日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者
 住 所 国東市安岐町向陽台5-6
 氏 名 株式会社 ファゼンダ国東
 代表取締役 浅井 敏彦
 電話番号0978-67-3064

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 ファゼンダ国東
事業場の所在地	大分県国東市安岐町掛樋
事業の種類	01 農業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

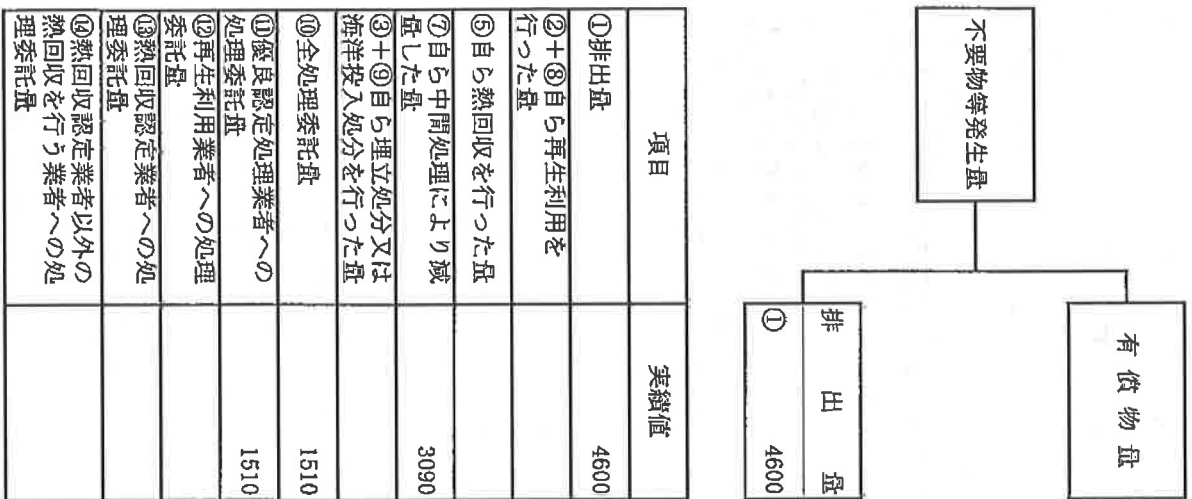
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4600 t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1510 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3090 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 動物の糞尿)

00003

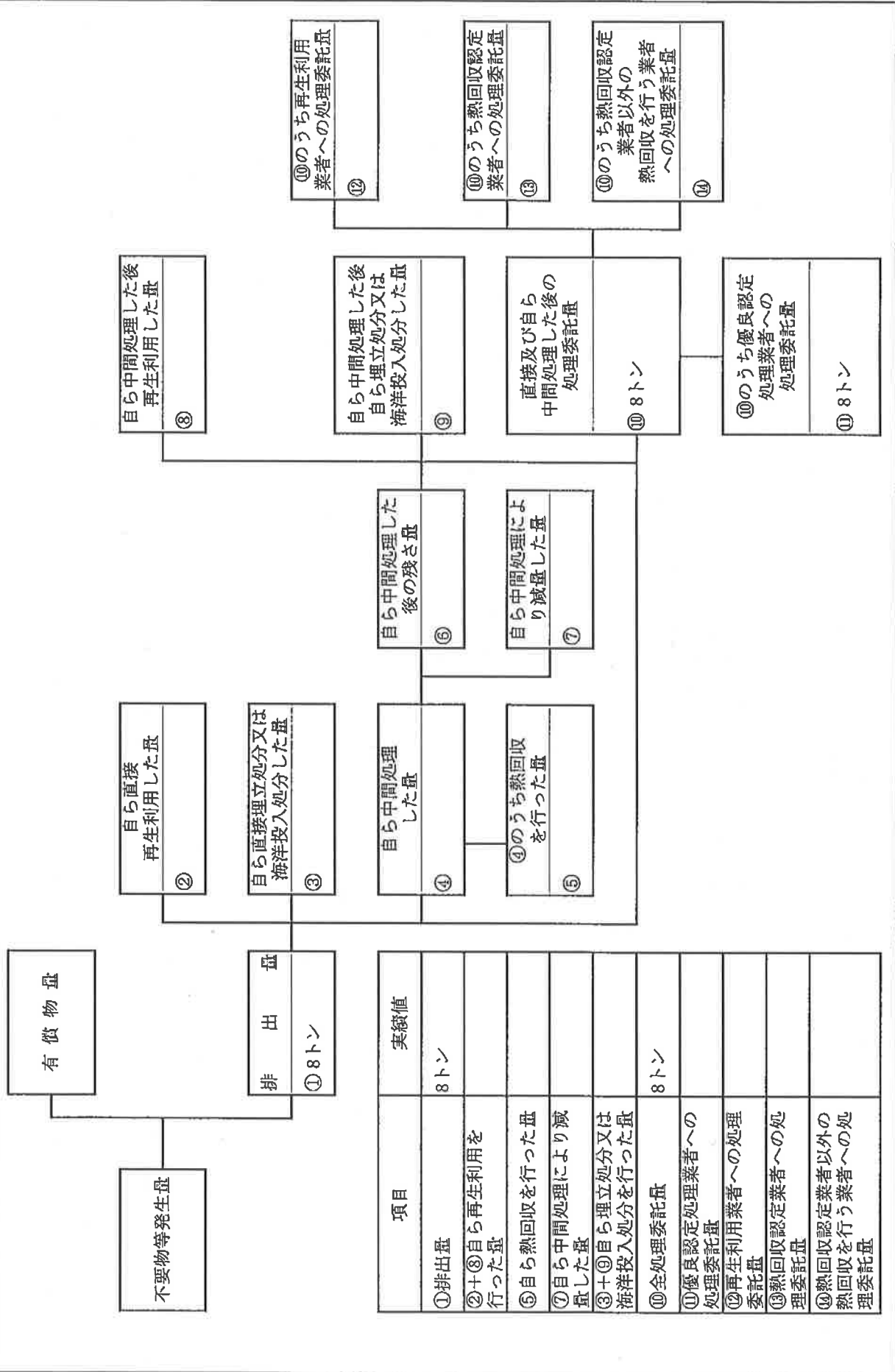


項目	実績値
①排出量	4600
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	3090
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1510
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1510
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収を行う業者以外の処理委託量	

00003

(産業廃棄物の種類： 動物の死体)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	8トン
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら焼回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	8トン
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬焼回収認定業者への処理委託量	
⑭焼回収認定業者以外の業者へ焼回収を行う業者への処理委託量	

1 翌年度の6月30日までに提出すること。

2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載

した目標値を記入すること。

4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)

に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律

第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への

焼却処理委託量

5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記

入すること。

6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃

棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7 ※欄は記入しないこと。